

◎農業振興担当の地域おこし協力隊を募集します◎
農業法人に就業し、大地を耕し、季節の風を感じる生き方を目指しませんか



●長門市のこと

山口県の北西部に位置し、人口約3万人。温暖な気候と海や山などの豊かな自然環境に恵まれたまちです。これらの環境を活かした農林水産業が盛んで、ブランド地鶏「長州黒かしわ」などを扱う“やきとり”のまちでもあります。

また、星野リゾートとタッグを組み温泉街の再生を進めている長門湯本温泉をはじめとした市内5つの温泉郷や、川尻岬、向津具半島の棚田など、自然・歴史・文化資源を活かした観光産業を基幹産業として発展してきました。



●私たちのいま(プロジェクトの背景)

長門市では、農業法人による水稻・麦・大豆の他、特産のスイカなどによる土地利用型農業が中心です。また、畜産業も盛んであり、その堆肥を利用した環境にやさしい農業にも取り組む法人が増えています。農業経営の効率化を目指し、個人営農から集落営農へ、さらには農業法人化へとシフトしており、今では33の農業法人(※1)と、3つの集落営農法人連合体(※2)が市内の大半の農地を集約し、地域農業を守っています。

●地域おこし協力隊募集の目的

農業法人への就業は、農業を始めるにあたって、自己資金の投入や、資金を借り入れる必要がなく、機械・技術を持っている農業法人で仲間と共に作業を行うため、安定的に農業を始めることができます。

また、広く集積した農地を耕作するため経営の効率がよく、地域への貢献度も高い特徴があり、これからの地域農業は法人に雇用された従業員が中心となって営農していくことが期待されています。

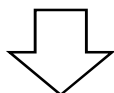
そこで今回、地域おこし協力隊として農業振興に取り組まれる方が未経験でも基本的な農業技術を身に付け、農業法人にスムーズに就業し、農業の担い手として力を発揮していただくため、地域おこし協力隊の任期を研修期間とした農業研修制度を立ち上げました。



●農業研修制度について

地域おこし協力隊としての任期2年間で農業研修期間とし、1年目基礎研修を山口県立農業大学校の「やまぐち就農支援塾」で、2年目実地研修を長門市にて「一般社団法人アグリながと」の支援を受けながら学んでいただきます。

1年目	地域おこし協力隊	【基礎研修】 山口県立農業大学校(防府市)での「やまぐち就農支援塾(※3)」にて、農業全般に関する基礎研修を受講 座学による講義、農業大学校のほ場での実習、先進農家への派遣研修のほか、必要な資格取得等を行います。希望者は寮を利用可能です。	【勤務地】 防府市
2年目		【実地研修】 長門市にある一般社団法人アグリながと(※4)にて現地研修を実施。アグリながとが耕作している農地で水稻などの栽培に取り組みます。他に、長門市内の農業法人に出向いて作業し、技術を磨きます。 「長門地域法人連絡協議会(※5)」「(JA)」と連携を取りながら、任期終了後に就業する法人とのマッチングをします。	【勤務地】 長門市



任期終了

法人就業！

●退任後の進路

農業法人で働きながら耕作面積を広げ、スマート農業を体現していただいたり、就業した法人にて新しい発想・視点で6次産業化など儲かる経営の研究に取り組んでいただいたりする活動を期待しています。

任期中に農業経営に必要な基礎知識、農業用機械の取扱技術、資格の習得等のスキルアップしておられますので、退任後にそれらを活かして農業の担い手となるべく、市内農業法人への就業に向けてバックアップいたします。



●活動内容

《専門業務》

1. 農業経営・技術を習得すること

農業経営に必要な基礎知識、農業用機械の取扱技術を、研修や実務を通して身につけるとともに、必要な資格等を取得していただきます。



2. 地域の農業への理解を深めること

(一社)アグリながとでの研修の他、市内の農業法人や農家での研修を通じて、地域への理解を深めながら人脈を作り、地域農業の未来を担う人材として研鑽してください。

3. 本市の農業振興に際し必要な業務

また、SNS等による情報の発信等、魅力を伝える活動もぜひ行っていただきたいです。



4. その他

農業大学校の学生、高校生等との交流活動など、地域での関係構築や学びを深める活動を行っていただきます。

《協力隊員共通業務》

・第2次長門市総合計画とまちの実態の理解。

・地域住民の一人として専門業務を推進していくため、地域と良好な関係の構築。

・その他、地域振興に関することを協議しながら実施します。



●求める人物像

- ・農業や機械が好きで、根気強く探求できる人
- ・事業関係者や地域住民と協力しながら活動できる方
- ・新しいことに挑戦する気力と、慎重さがある方
- ・心身ともに健康で、田舎が嫌いでない方

●応募要件について

【対象】

次の①～⑥の要件をすべて満たす方

- ①3大都市圏をはじめとする都市地域等に住民票を有し、任用後に長門市に住民票を移すことができる方
- ②普通自動車運転免許を取得している方
- ③ワード、エクセル、パワーポイント、インターネットなどの基本的なパソコン操作ができる方
- ④心身ともに健康で、事業関係者や地域住民と協力しながら活動できる方
- ⑤農業、法人就業に強い関心のある方
- ⑥雇用期間終了後、農業法人に就業し、定住する意欲のある方

【募集人数】

1名

【勤務場所】

- 1年目 山口県立農業大学校 やまぐち就農支援塾(山口県防府市牟礼10318)
2年目 一般社団法人 アグリながと(山口県長門市日置上5915-2)

【任用形態】

長門市の会計年度任用職員(一般職非常勤職員)として任用します。

【任用期間】

令和8年4月1日～令和9年3月31日まで ※着任日は相談に応じます
※年度ごとに勤務実績等を踏まえて更新します。(2年間の任用を予定)

【勤務日等】

勤務時間:週31時間

※やまぐち就農支援塾にて基礎研修を学ぶ間は、塾のカリキュラムに従ってください。

(基本的に週5日のカリキュラムです。)

※勤務日数や任務に差し支えない範囲での副業等相談に応じます。

【報酬】

- ・月額:189,800円(※)
 - ・期末手当:報酬月額の4.6月分(6月期、12月期それぞれ2.3月)を支給
ただし、在職期間に応じて所定の割合を乗じた額を支給
 - ・通勤手当:通勤距離が片道2km以上の場合は市の規定に基づき通勤手当相当の報酬を支給
- ※やまぐち就農支援塾で学ぶ間の、勤務時間数の増加によって生じる会計年度任用職員の報酬

額との差額については、(一社)アグリながとが別途支給します。

【待遇等】

- ・福利厚生: 社会保険(健康保険、厚生年金)、雇用保険、非常勤職員公務災害補償制度に加入
- ・住居: 市が用意した市内の空き家を隊員に貸与
(住居賃料は市負担、その他の引越費用及び光熱水費、生活用品等は自己負担)
- ・休暇: 任用期間等に応じて年次有給休暇及び特別休暇を付与
- ・服務: 一般職の地方公務員として守秘義務、職務専念義務など服務上の規程が適用されます
- ・その他: 勤務時間中の協力隊活動に必要な車両及びパソコン等は貸与、作業着及び事務用品等は支給。

※協力隊に貸与する車両は勤務中のみ使用可能です。

市内での生活、通勤等の移動手段に自動車は必要不可欠ですので、自家用車の持ち込みをお勧めします。

※任期終了後、条件によっては下記補助金を活用できます。

- ・長門市地域おこし協力隊定住支援補助金: 上限 50 万円…定住に係る空き家改修
(中学生以下の子どもと同居の場合は上限 75 万円)
- ・その他、就農に関してはさまざまな補助があります。

【応募期限】

応募があり次第、随時選考をさせていただきます。

※任用者が決まり次第、募集を終了させていただきます。

【応募方法】

「令和7年度長門市役所会計年度任用職員登録申込書」と「長門市地域おこし協力隊応募用紙」に必要事項を記入し、長門市役所企画政策課に郵送又は持参又はメールにて提出してください。
なお、提出いただいた書類は返却しません。

【選考方法】

(1) 第一次選考

- ・提出いただいた書類等により審査を行います。
- ・審査結果は、応募者全員に文書にて通知します。

(2) 第二次選考

- ・第一次選考合格者を対象に、随時長門市役所にて面接を予定しています。なお、第一次選考合格者は、ミスマッチ解消と着任後の活動をイメージするため、本市で実施する2泊3日のプログラム「試験的な地域活動体験」への参加を必須とします。

※日程は応相談。参加費無料・食費のみ自己負担となります。

※試験的な地域活動体験は選考とは関係ありませんが、長距離の移動等受験者の負担を考慮して、原則プログラム最終日に第二次選考を実施します。詳しくは、第一次選考合格者に別途お知らせします。

- ・旅費は、基本個人負担としますが、遠隔地の場合は居住地から山口県内への往復交通費に関する補助制度があります。

(対象経費)…1、居住地から最初の県内到着地(駅や空港等)及び最後の県内発着地から居住地までの交通費。ただし、公共交通機関を利用した実費に限る。

2、福岡県及び広島県在住者に限り、居住地から山口県内への移動に係る往復の高速道路利用料(実費に限る)。

詳しくは「YY!ターン支援交通費補助金」

(<https://www.ymg-ujj.jp/transportation/>) をご覧ください。

※なお、山口宇部空港又は新山口駅をご利用の方は、市職員が送迎を行います。

・選考結果(可否)は対象者に文書にて通知します。

※選考内容についてのお問い合わせにはお答えできません。

【選考についてその他】

任期1年目は、農業全般に関する技術及び専門知識を体系的に習得する期間と位置付けております。そのため、山口県立農業大学校で実施される「やまぐち就農支援塾(法人就業コース)」(防府市)を受験し、塾生となっていただくことを条件とさせていただきます。

ただし、農業経験者で3年以上の実務経験を有し、おおむね下記資格等を取得されている方はこの限りではありません。

- ・大型特殊自動車免許(農耕車限定)
- ・刈払機取扱作業安全衛生教育
- ・けん引免許(農耕車限定)
- ・フォークリフト運転技能講習
- ・毒物劇物取扱者
- ・危険物取扱者(乙種第4類等)
- ・農業簿記検定

※「やまぐち就農支援塾」入塾試験について

(一次募集)申込期間 10/20～11/25、試験日 12/16

(二次募集)申込期間 12/23～1/27、試験日 2/17

試験会場:山口県立農業大学校(防府市)

受験料は無料、試験会場までの交通費等は自己負担となります。

※第1次選考合格者に対し、やまぐち就農支援塾の試験日までに市担当者等との面談を予定しています(オンライン面談可能)。

・この募集は、議会における令和8年度予算成立を前提に実施するものです。予算成立の状況により、本募集内容を変更する場合があります。あらかじめご承知おきください。

【応募先・問い合わせ先】

長門市役所 企画総務部 企画政策課 政策調整班(担当:長井)

〒759-4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2

TEL:0837-27-0203 FAX:0837-22-5358

E-Mail : krt@city.nagato.lg.jp

(※1)「農業法人」とは

稲作のような土地利用型農業をはじめ、施設園芸、畜産など、農業を営む法人の総称です。組織形態としては、会社法に基づく株式会社や合名会社、農業協同組合法に基づく農事組合法人に大別されます。(農林水産省ホームページから)

(※2)集落営農法人連合体とは

複数の集落営農法人が集まって新たに法人を設立し、共同事業に取り組むことによって、所得や雇用の拡大を図る連携組織(新法人を設立する代わりに既存法人に複数の集落営農法人が出資し連携組織を形成する場合も含む)(山口県ホームページから)

(※3)やまぐち就農支援塾とは

山口県立農業大学校(防府市)で実施される、プロ農家を目指す決心をされた方が受講できる1年間のフルタイム研修。実践的な栽培や飼養技術、経営に必要な知識、農業に必要な資格・免許等が取得できます。

受講料は無料、資格取得にかかる費用等は、地域おこし協力隊の活動費から支出できます。

(※4)一般社団法人アグリながととは

地域農業の最後の守り手として、長門市の農業活性化に必要な、就農希望者等の研修・指導、農産物等の生産及び販売、農作業の受託等を行っている第三セクターの法人です。平成31年4月5日に設立しました。

これまでに、(一社)アグリながとが若い担い手候補生を雇用し、2~3年の研修を行ったのち、これまで6人の人材を地域に輩出してきました。

今回の募集では、地域おこし協力隊(2年目)の中間支援団体として、実地研修の他に地域の農業法人とのマッチングの役割を担います。

(※5)長門地域法人連絡協議会とは

山口県長門大津地域で設立されている集落営農法人同士の連携強化と経営発展を図るとともに、法人化を目指す集落営農の取組を推進するネットワーク組織です。(会員数31 組織:R7.3末現在)